

## g-View (旧 ShockBug)

# g-View

※旧「ShockBug」から  
製品名が変更されま  
した

製品が工場を出てからお客様の元に届くまでの間に何が起きたかを、どれほどのメーカーが本当に知っているでしょうか？ 製品の輸送・保管状況を知ること、製品が破損したときの追加運送・損失補填などのコストを削減することができます。

ShockWatch・IMC Group社の製品は、乱暴な荷扱いや製品の破損を防ぐため、非常に多くの世界的企業の製品輸送・保管に採用されています。Lamerholm社はその実績を生かし、手頃な価格で解決法を提供いたします。



**ShockWatch・IMC Group社のg-Viewは、製品・機器の輸送・保管・使用中に起きた衝撃を検知します。g-Viewを直接に製品または梱包に取り付けると、イベント発生時つまりユーザーが決めた閾値のG値（加速度）を超える衝撃を検知したとき、その日時がg-Viewに正確に記録されます。これにより、製品の所有者は破損・乱暴な荷扱いが起きた正確な日時を特定することができます。**

また、閾値を超えた衝撃を検知するとLEDライトが点灯するので、輸送・保管中に衝撃が発生していたことを製品受領時に知ることができます。

更に、Plusモデルでは、それぞれの軸（前後／左右／上下の3方向）で閾値を個別にプログラムできる機能が加えられており、特定の方向の衝撃を敏感に監視することも可能で、衝撃発生時の衝撃の大きさ及び温度も測定できます。

g-Viewのメリット	代表的な用途
市場に流通するイベントレコーダーでは最良のコストパフォーマンス 輸送または保管中の製品の破損と損失を削減 乱暴な荷扱いの明確な証拠を提供 不適切な荷扱いを視覚的に抑止 荷物の受取人が受領前に中身を調べる際の注意喚起 全ての製品の取扱いに対する説明責任を保証 製造から輸送・保管までのサプライチェーンでのトラブル発生箇所を特定	商業用電化製品 半導体機器 コンピューターのハードドライブ 実験機器 ストレージメディア ガラス製品 電子機器 家具

<従来の衝撃検知製品の場合>



< g-Viewの場合 >



Date / Time	No.	Temp.	X	Y	Z
2011/12/23 19:24:55	8	22.2	3.9	2.3	0.0
2011/12/23 20:00:38	9	20.5	2.1	1.7	3.6

衝撃の発生した日時を確認可能！





g-Viewとお客様のパソコンとの通信はiButton®によって行います。g-Viewのソフトウェアで衝撃の閾値を設定し、その値をiButtonにプログラムし、そこからg-View本体に送信します。g-Viewに記録された情報は、また別のiButtonを使ってダウンロードし、Windowsベースのパソコンに保存して記録されたデータを見ることが出来ます。それぞれの軸で閾値を越えた日時が表形式で表されます。それぞれの軸毎に100までのイベントの記録が可能です。

USB ケーブルで PC と iButton 間のデータやり取り



g-View に iButton を接触させてデータをやり取り



特徴	機器仕様
完全内蔵式（電池で稼動）	寸法 : 70 x 50 x 30 mm
加速度計測	重量 : 81g （電池重量を含む）
3方向内蔵加速度	電源 : 単3電池 1個
低コストな単3電池 （充電式電池は使わないで下さい）	外装素材 : ポリカーボネート / ABS樹脂
iButton通信ケーブル	防水・防塵規格 : IP65
稼動・アラーム状態をLEDで表示	電池寿命 : 約6ヶ月（周囲の温度が0~35℃で、衝撃が起こる頻度が平均で20分に1回程度の場合。温度が0℃以下または35度以上、及び衝撃頻度が頻繁な時はこれより短くなります）
日付・時刻を記録	作動温度範囲 : -10℃~+50℃（-10℃~0℃、35℃~50℃の場合はリチウムイオン電池をお使い下さい）
RF遮蔽及びCE認証済み	衝撃測定可能範囲 : 10gタイプ…2g~10g、25gタイプ…5g~25g
6ヶ月の電池寿命	アラーム作動閾値 : 各軸毎に20~90%の範囲で選択可能 *1
イベント記録（最大300件）	加速度計 : 圧電式
不揮発性メモリ	衝撃精度 : 最大測定限度の +/- 6%
衝撃の大きさを記録	分解能 : 0.1g
温度を測定	通信 : iButton®
	メモリ : 測定開始から前後・左右・上下各方向につき100件、最大300件
	*2 閾値を超えた衝撃を知らせるアラーム表示機 : LED

\*1…作動閾値を20%に設定すると、10gタイプで2g（=10g×20%）、25gタイプで5g（=25g×20%）がアラーム作動閾値となります。つまり、10gタイプで2g~10g、25gタイプで5g~25gの衝撃を検知します。90%に設定すると、10gタイプで9g（=10g×90%）、25gタイプで22.5g（=25g×90%）がアラーム作動閾値となるので、10gタイプで9g~10g、25gタイプで22.5g~25gの衝撃を検知します。

\*2…衝撃記録件数が合計300件に達すると測定はストップし、それ以降の衝撃は記録されません。

g-View 本体	別売 付属品
GV11025 – g-View Impact Recorder 10g/25Hz GV12540 – g-View Impact Recorder 25g/40Hz	GV550 – g-View Communication Kit  (iButton (Download, Set-up, Clockの3種) 専用ソフトウェア、マニュアル iButton-PC接続用USBケーブルを含む

**ご注文・お問い合わせの前に、下記注意事項をよくお読み下さい。**

- ※ 衝撃測定可能範囲 (10g/25g) は出荷時に設定されており、お客様による変更は出来ません。購入時にどちらかのタイプを選択して下さい。
- ※ 「○○の測定には何Gが必要か」「●●は何Gの衝撃で破損するか」といったご質問は、当社ではお答えできませんのでご了承下さい。
- ※ 上記の加速度範囲の値が大きければ良いわけではありません。例えば、25gの機種を選択した場合、5g未満の弱い衝撃は記録できません。どのような大きさの衝撃を測定したいのかをお客様ご自身で把握して下さい。加速度範囲の選択において、当社は責任を負いません。
- ※ g-Viewの記録内容を見るには、データをパソコンにダウンロードする必要があります。その際、iButton、PC接続用USBケーブル及び専用ソフトウェアが必要ですので、初めてg-Viewをご利用の場合は、本体と併せてg-View Communication Kitを購入して下さい。
- ※ 電池は含まれませんので、お客様ご自身でご用意下さい。
- ※ g-View Communication Kit には、全てのiButton (Download, Set-up, Clockの3種) と専用ソフトウェア、iButton-PC接続用USBケーブル、マニュアルが含まれます。

**免責条項：**第3者が作成したデータシートや情報に関する不正・不完全な情報については責任を負いません。

製品は予告無しに変更されることがあります。製品のご注文の前に最新の情報を入手・確認して下さい。

また、当社以外が販売する製品についてのお問合せはお断りいたします。製品の顧客サポートは、当社でご購入頂きましたお客様のみを対象としておりますので、ご了承下さい。

**ShockWatch・IMC Group社製品 日本 販売代理店**



**株式会社 プラント サービス**

〒650-0031 神戸市中央区東町116-2 7F

TEL:078(334)0211-FAX:078(334)0210

E-Mail: [service@aps-jp.com](mailto:service@aps-jp.com)

URL : <http://www.aps-jp.com/>